第一興商

2027年3月期中間期
決算補足説明資料

2026年11月9日



Contents

目次

01 決算概要 P3

02 2027年3月期の見通し P16



01　決算概要

02　2027年3月期の見通し

2027年3月期中間　決算サマリー

主要事業が好調に推移し、全ての事業セグメントで増収・増益
売上高は中間期として過去最高、営業利益は修正予想をさらに上回る

- 前期の新商品効果（LIVE DAM WAO!）が剥落したものの、全ての事業で増収となり、
  売上高は前期比5.2%増（中間期過去最高）

- 中間期での営業利益100億円超えは2018年度以来の高水準　8月に上方修正した中間期予想を上回る

- 主要事業が好調な推移

  業務用カラオケ事業：DAM稼働台数は安定的に推移し、前年同期比微増
  新商品効果が剥落し、前期比では卸売が減少も、10月の商品価格改定実施前の駆込み需要を取り込む
  カラオケ・飲食店舗事業：既存店前年比　（カラオケルーム）+3%、（飲食）+4%
  パーキング事業：期末施設数　4，600施設　53，000車室　と堅調に増加

- 営業利益　前年同期比25.4%増、経常利益 同27.1%増、中間純利益 同11.9%増

- 上期業績予想を上回る進捗となったものの、商品販売での反動減が想定されることなどから、通期業績予想については据え置き　売上高 1,690億円　営業利益 193億円　経常利益 197億円　当期純利益 126億円

業績ハイライト

全ての事業セグメントで前期比増収・増益かつ中間期の業績予想を上回る進捗

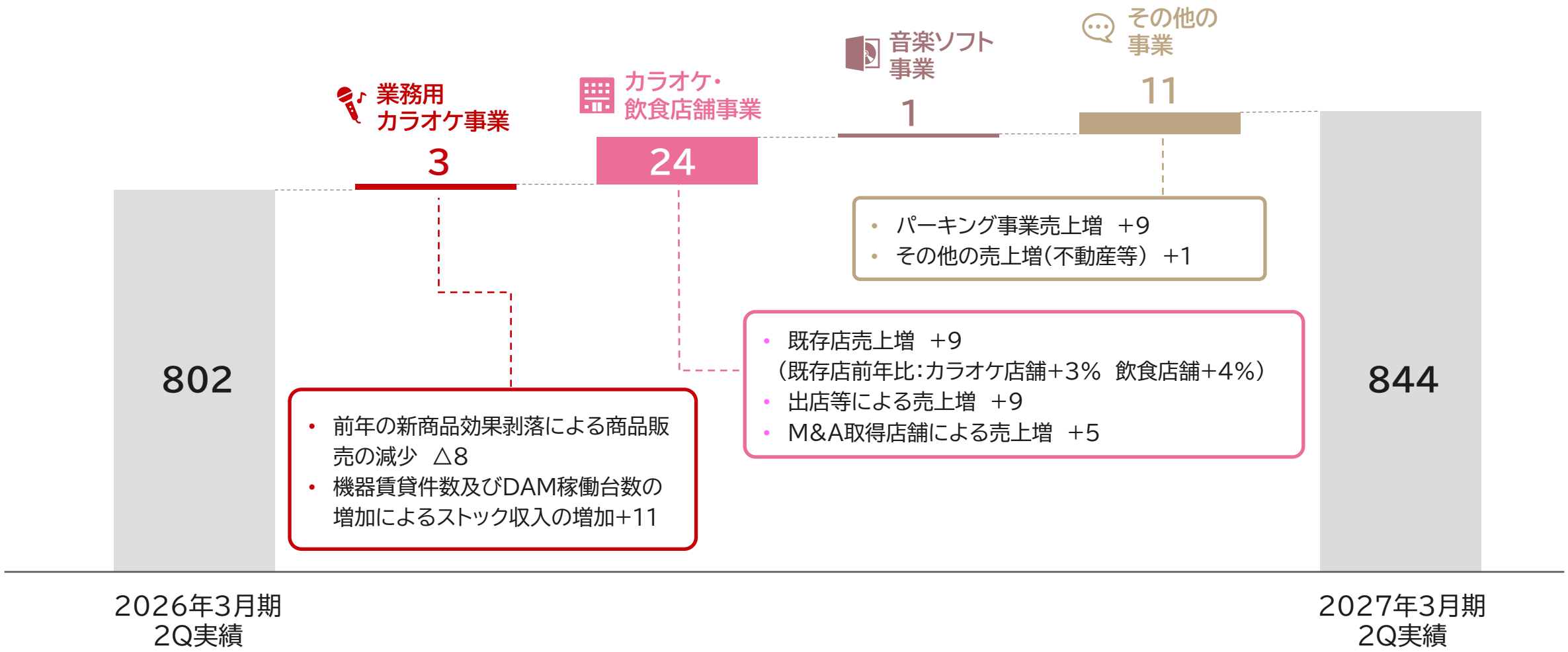
（単位:百万円）	2026年/3月期 中間期	2027年/3月期 中間期			
	実績	実績	前期比(%)	業績予想	予想比(%)
売上高	80,276	84,412	5.2	83,100	1.6
売上総利益	27,685	29,829	7.7	-	-
販売費及び一般管理費	19,254	19,260	0.0	-	-
営業利益	8,430	10,568	25.4	9,600	10.1
経常利益	8,606	10,936	27.1	9,800	11.6
親会社株主に帰属する当期純利益	6,117	6,844	11.9	6,200	10.4

業績ハイライト(セグメント別)

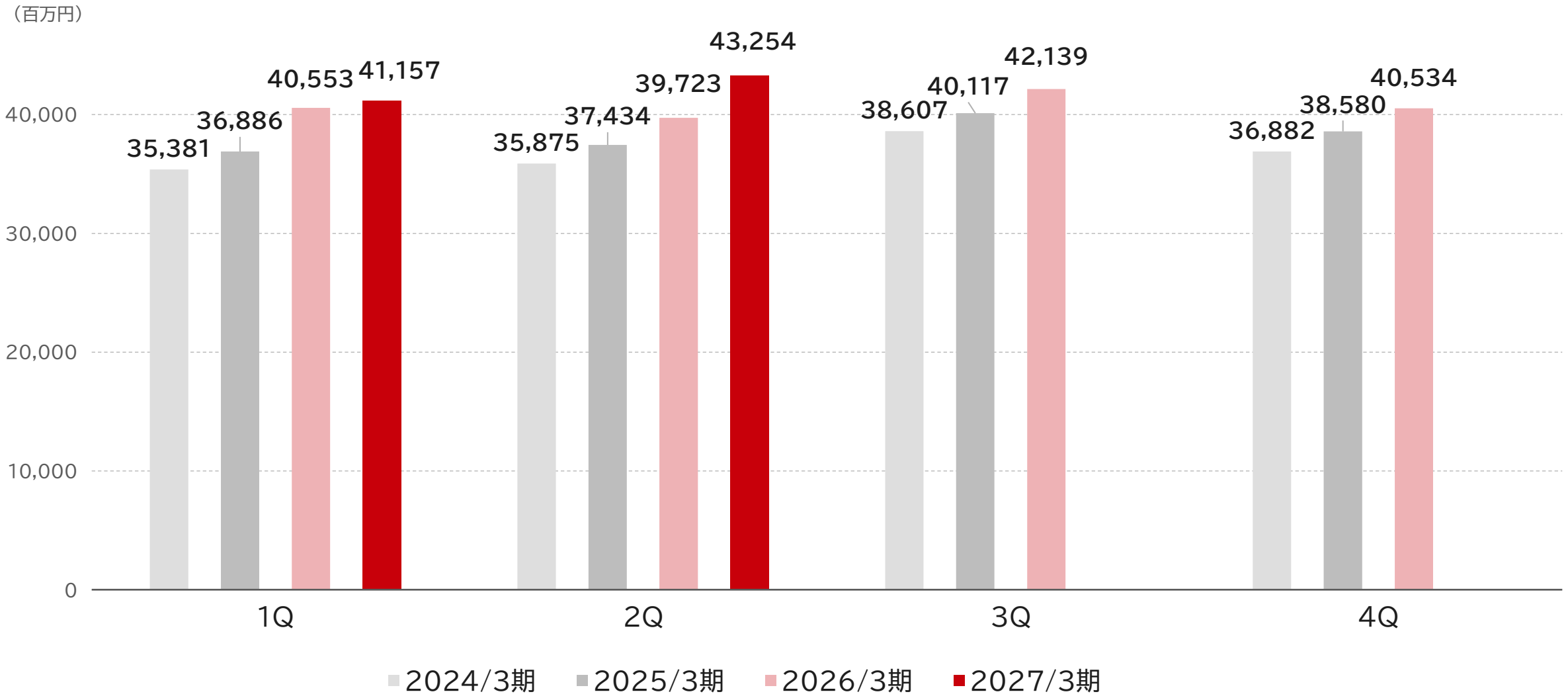
	(単位:百万円)	前期2Q	実績	前期比(%)	業績予想	予想比(%)
業務用カラオケ事業	売上高	33,644	33,953	0.9	33,050	2.7
	営業利益	6,236	7,457	19.6	6,900	8.1
	営業利益率(%)	18.5	22.0		20.9	
カラオケ・飲食店舗事業	売上高	33,656	36,149	7.4	35,850	0.8
	営業利益	2,432	2,826	16.2	2,600	8.7
	営業利益率(%)	7.2	7.8		7.3	
音楽ソフト事業	売上高	2,628	2,808	6.8	2,800	0.3
	営業利益	110	192	74.7	180	7.2
	営業利益率(%)	4.2	6.9		6.4	
その他事業	売上高	10,346	11,501	11.2	11,400	0.9
	営業利益	1,436	1,844	28.4	1,700	8.5
	営業利益率(%)	13.9	16.0		14.9	
全社費用	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	-1,785	-1,753	-	-1,780	-
	営業利益率(%)	-	-	-	-	-

売上高増減要因分析

（億円）

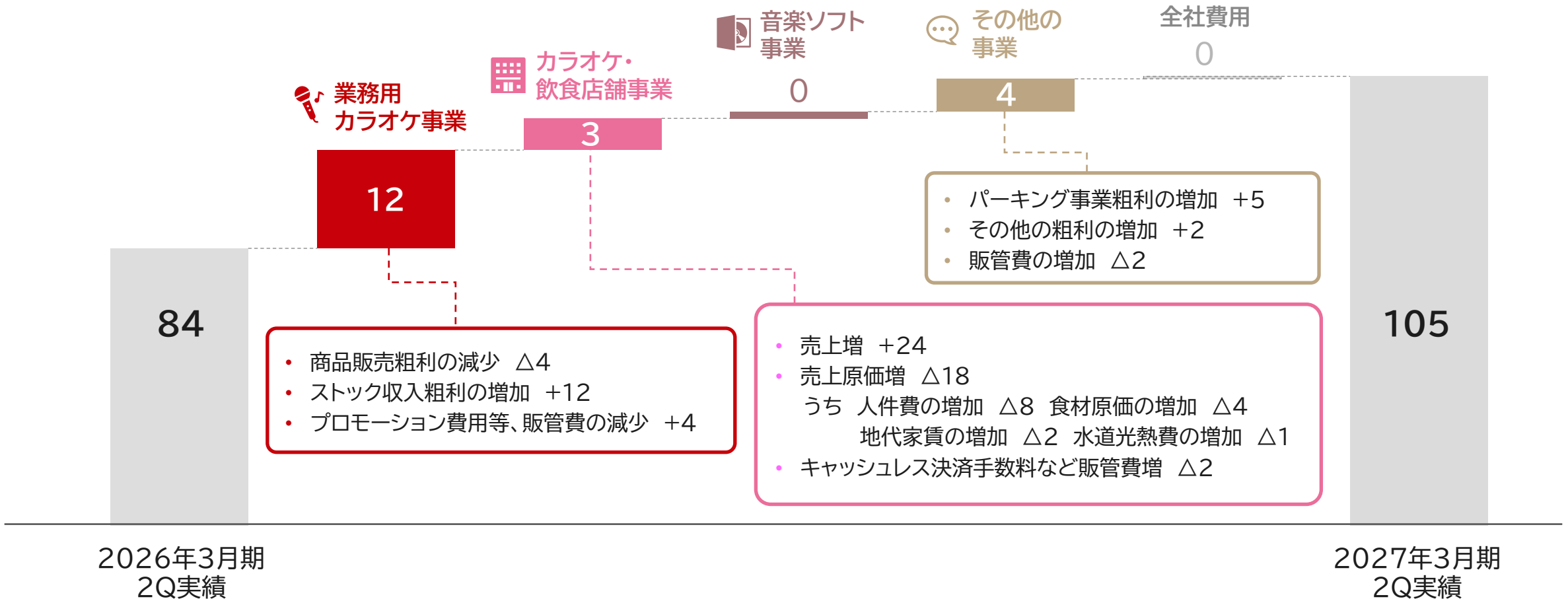


四半期別売上高推移

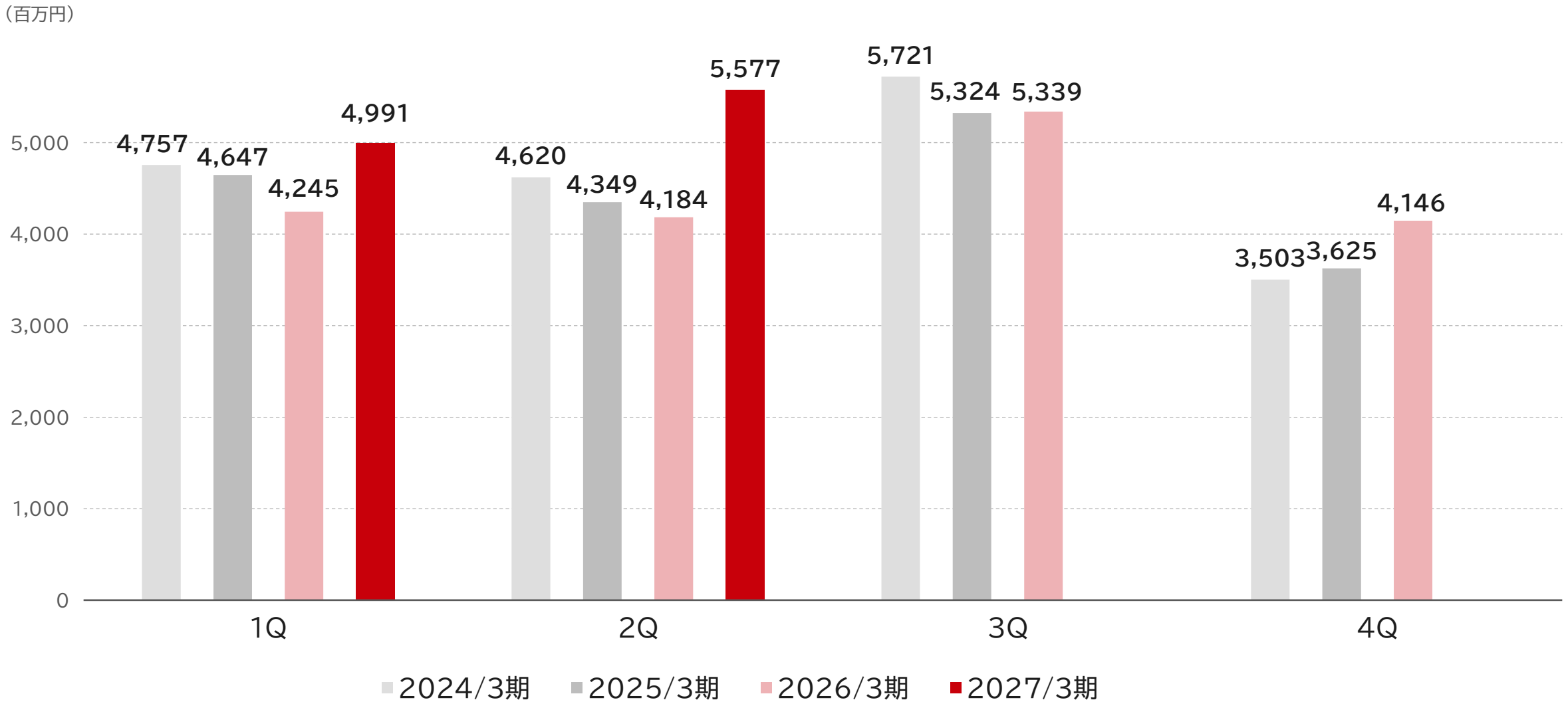

（百万円）
40,000
30,000
20,000
10,000
0
35,381
36,886
40,553
41,157
35,875
37,434
39,723
43,254
38,607
40,117
42,139
36,882
38,580
40,534
1Q
2Q
3Q
4Q
2024/3期
2025/3期
2026/3期
2027/3期

営業利益増減要因分析

（億円）



四半期別営業利益推移


（百万円）
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
4,757
4,647
4,245
4,991
4,620
4,349
4,184
5,577
5,721
5,324
5,339
3,503
3,625
4,146
1Q
2Q
3Q
4Q
2024/3期
2025/3期
2026/3期
2027/3期

第一興商

事業環境(業務用カラオケ)

事業環境

- カラオケ市場は全体として底堅く推移。当期末のDAM稼働台数は、前年同期比微増
- 前期の新商品効果が剥落し、卸売を中心とした商品販売は減少したものの、商品価格改定(10月)前の駆込み需要があったほか、ストック収入は増加
- 新コンテンツ「推しカメライブ」、本人映像拡充などによるDAMの商品力強化
- メディアやイベントとのタイアップでカラオケ需要の喚起

推しカメライブ



LIVEDAM wAO!

事業セグメント別のKPI

	2025年9月期	2026年9月期
DAM稼働台数	22.2万台	22.2万台 (+0.2%)
機器賃貸件数	11.7万台	12.2万台 (+4.1%)

全体のうちエルダー市場向け

	2025年9月期	2026年9月期
エルダー向けDAM開局状況	2.9万台 / 22.2万台	2.9万台 / 22.2万台 (+2.4%)

事業環境(カラオケ・飲食店舗事業)

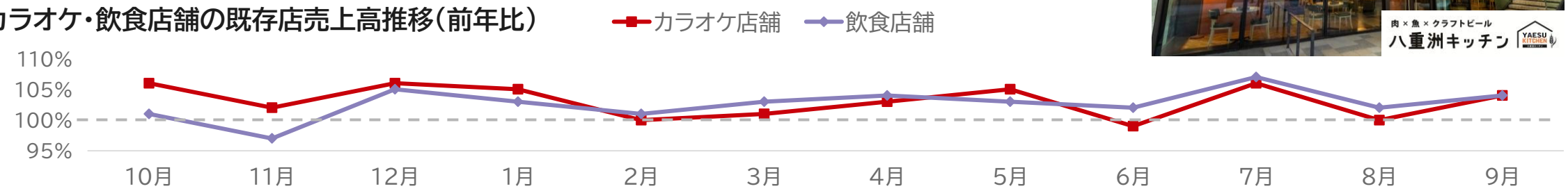
事業環境

- 想定を上回る堅調な集客→既存店売上高はカラオケ店舗+3%、飲食店舗+4%
- カラオケ店舗:機器・音響・美観のクオリティ向上、コラボ企画、
  好立地を生かして収益力強化に繋がる取り組みの推進
- 飲食店舗:店舗環境・接客・料理のクオリティ向上→予約受注好調
  9月、東京駅直結の「TOFROM YAESU」に2店舗を出店
  MARUNOUCHI BASEなど飲食とアミューズメント複合店舗が収益貢献

	出店	閉店	26/9末 店舗数
カラオケ	4	5	520
飲食	10	5	172



カラオケ・飲食店舗の既存店売上高推移(前年比)



	2026/3期						2027/3期					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
カラオケ店舗	106%	102%	106%	105%	100%	101%	103%	105%	99%	106%	100%	104%
飲食店舗	101%	97%	105%	103%	101%	103%	104%	103%	102%	107%	102%	104%

事業環境(音楽ソフト・パーキング)

音楽ソフト事業

- 「純烈」の弟分グループ「モナキ」のデビューシングル『ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど』が収益に貢献





- ビッグエコーでのコラボ企画の展開など、グループシナジーを発揮

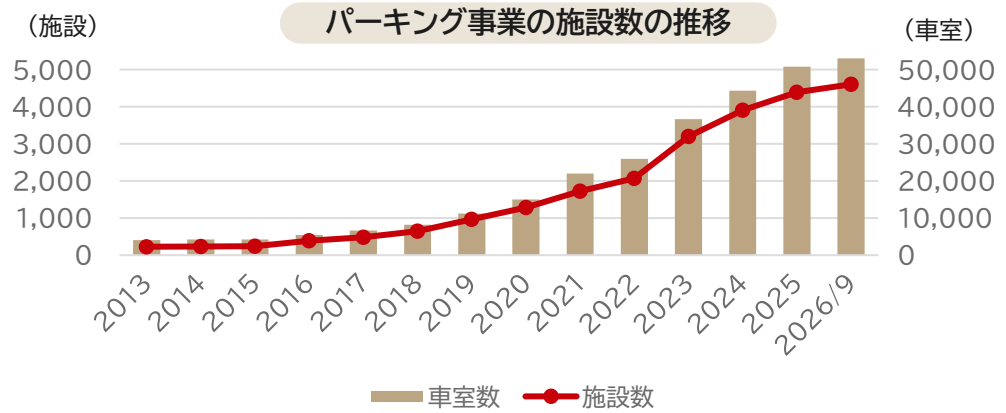




パーキング事業

第一興商のザ・パーク

- 新規パーキング施設が堅調に増加
- 不採算施設の整理などによる粗利率改善



事業セグメント別のKPI

	2025年9月期	2026年9月期
パーキング施設数	4,200施設	4,600施設 ＋9.3％
パーキング車室数	48,000車室	53,000車室 ＋9.7％

連結貸借対照表

**利益剰余金が増加する一方、未払金等の負債が減少し、
自己資本比率は57.6%と前期末比1.5%pt上昇**

（単位：百万円）	2026年3月期 実績	2027年3月期 中間期 実績	前期末比(%)	コメント
流動資産	77,209	73,350	△5.0%	現預金及び棚卸資産の減少
固定資産	143,235	147,678	3.1%	賃貸用カラオケ機器及びカラオケ・飲食店舗設備の増加
資産合計	**220,445**	**221,028**	0.3%	
流動負債	27,351	24,566	△10.2%	未払金の減少
固定負債	67,744	67,376	△0.5%	
負債合計	**95,096**	**91,942**	△3.3%	
株主資本	122,263	125,076	2.3%	
その他包括利益累計額	1,376	2,233	62.3%	
純資産合計	**125,349**	**129,085**	3.0%	
負債・純資産合計	**220,445**	**221,028**	0.3%	

連結キャッシュ・フロー計算書

税前利益の増加や棚卸資産の減少などにより、営業C/Fが増加
適正なキャッシュ水準を維持

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期 実績	2027年3月期 中間期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,798	16,062	4,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,617	△14,981	△1,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,383	△4,885	8,498
現金及び現金同等物の期首残高	41,584	48,475	6,891
現金及び現金同等物の期末残高	26,387	44,779	18,392
フリー・キャッシュ・フロー	△1,818	1,080	2,899

01　決算概要



02　2027年3月期の見通し

2027年3月期業績予想

各主要事業が好調に推移したほか、DAM価格改定に伴う販売の前倒しが
上期業績の押し上げ要因となった

（単位：百万円）	2026年3月期	2026年3月期					
	中間期	中間期				通期	
	実績	実績	前年同期比	予想	予想比	予想	進捗率
売上高	80,276	84, 412	5.2%	83,100	1.6%	169,000	49.5%
営業利益	8,430	10, 568	25.4%	9,600	10.1%	19,300	54.8%
営業利益率(%)	10.5	12. 5	+2.0pts	11.6	+0.9pts	11.4	ー
親会社株主に帰属する当期純利益	6,117	6, 844	11.9%	6,200	10.4%	12,600	54.3%

2027年3月期下期の状況

主要事業の活動は引き続き堅調な推移を想定
業務用カラオケ事業における反動減なども織り込み、通期予想は据え置き

業務用カラオケ事業

→ 10月にDAM主要商品の価格改定を実施
効果的な機器ローテーションによりDAM1台あたりの収入増加に努める

カラオケ・飲食店舗事業

→ (カラオケ店)早い時間の集客が伸長 (飲食店) コース予約好調

→ 既存店の好調を維持

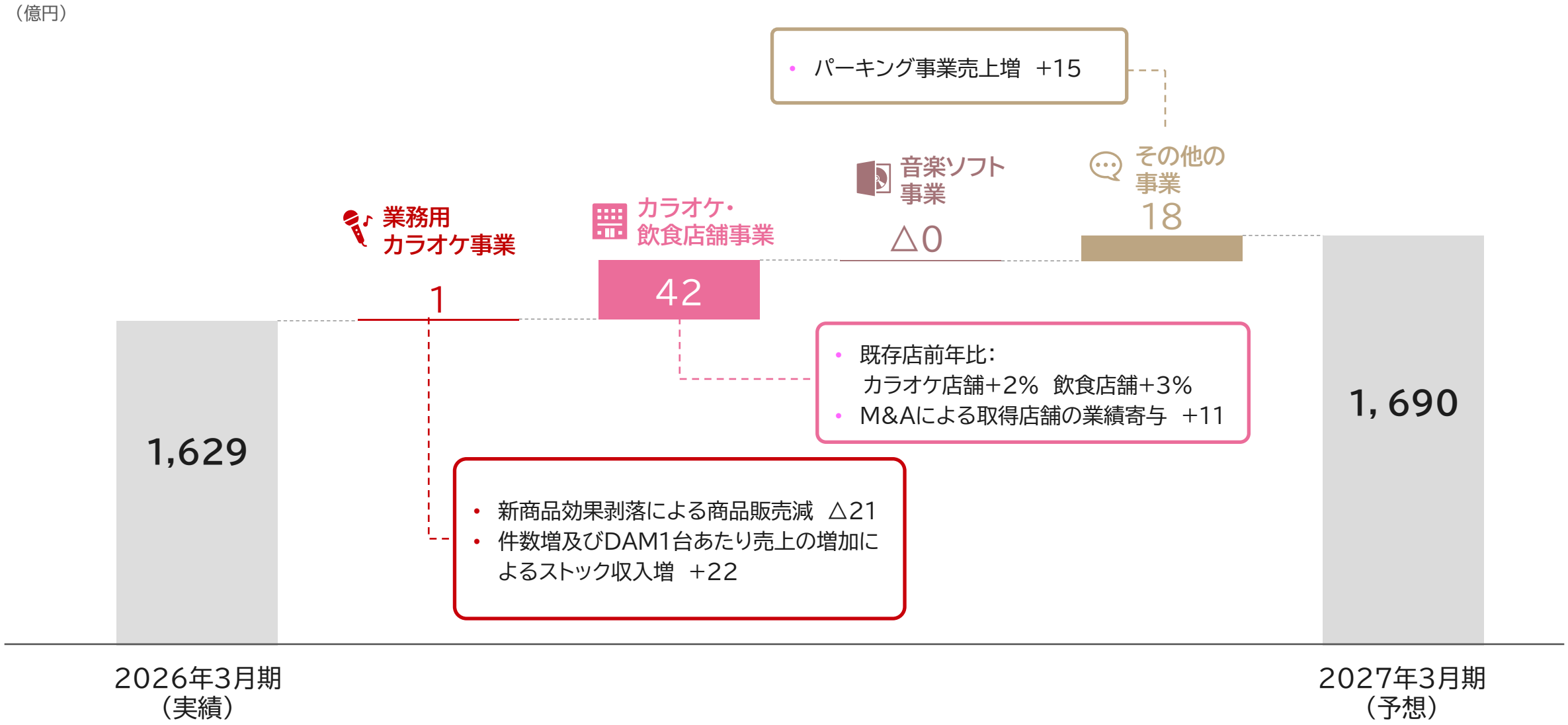
パーキング事業

→ 施設数の増加と共に、収益性向上・施設の美観維持に注力

・上期にあったDAM価格改定前の駆込み需要による反動減を見込む

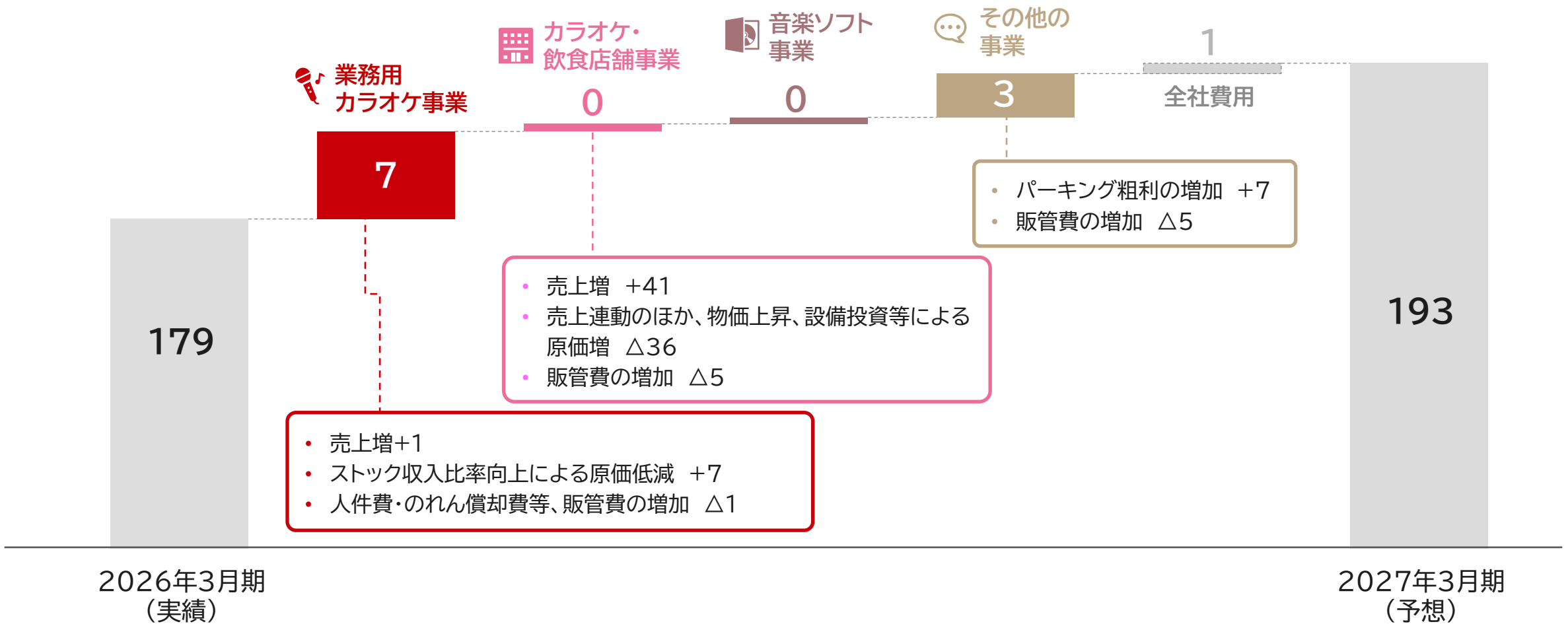
・通期業績予想については2026年8月6日公表の予想を据え置き

売上高予想　増減要因分析



営業利益予想 増減要因分析

（億円）



2027年3月期 セグメント別業績予想

業務用カラオケ事業

- ナイト市場
- エルダー市場
- カラオケボックス市場

セグメント別売上高

65,400百万円 +0.2%

セグメント別営業利益

12,700百万円 +6.5%

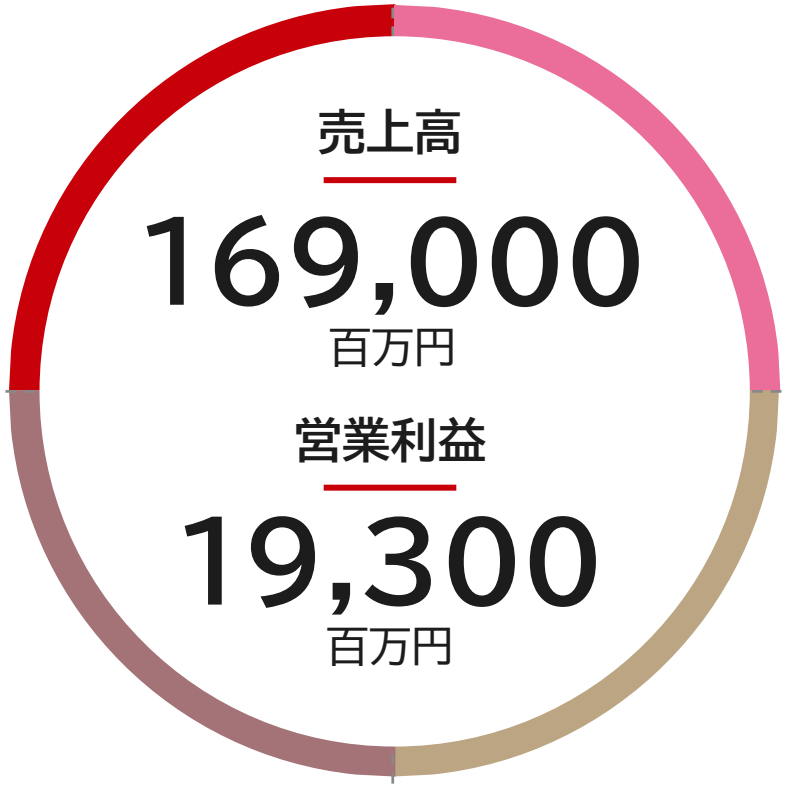
音楽ソフト事業

セグメント別売上高

5,400百万円 △1.1%

セグメント別営業利益

200百万円 +42.5%



カラオケ・飲食店舗事業

セグメント別売上高

75,200百万円 +5.9%

セグメント別営業利益

6,700百万円 +1.0%

その他の事業

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

セグメント別売上高

23,000百万円 +8.4%

セグメント別営業利益

3,200百万円 +13.8%

2027年3月期 セグメント別実施施策

業務用カラオケ事業

ナイト市場 カラオケボックス市場

- LIVE DAM WAO!の新たな機能・コンテンツの訴求により、カラオケ利用者のすそ野の拡大・歌唱回数の向上を図る
- 10月より主要商品の価格改定を実施
- 中心地において、さらなるシェア向上に努める
- 旧機種からの効果的な入替えを推進することにより、DAM1台あたりの収益向上を図る

エルダー市場

- エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE」の拡販と新機能の訴求で、健康寿命の延伸、介護施設職員の業務負荷軽減に貢献
- 大学等との共同研究により「歌うこと＝健康」の認知拡大
- 成長市場として、稼働台数の増加を図る

その他

- Toyota Woven Cityでの実証実験などを通じて、新たな歌える環境の創出を図る

音楽ソフト事業

重点施策

- 新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築

カラオケ・飲食店舗事業

共通

- 一等地戦略をさらに推進、人口集積地への出店により収益力強化を図る

カラオケ店舗

- メーカー直営店として、設備とサービスの両面を充実させ、顧客満足度向上を図る
- アーティストやアニメ等とのコラボレーション企画によるライト層集客増
- 好立地を生かした各種サービスとの提携による収益力最大化

飲食店舗

- 顧客のニーズを捉えた新たなブランドの開発に注力
- 主力業態である個室ダイニングのほか、カラオケやダーツなどのアミューズメントを含めた幅広い客層の開拓

その他の事業

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

パーキング事業

- M&Aを含む新規施設開拓を進め、さらなる事業規模の成長
- 不採算施設の改善・整理を通じて収益力向上を図る

全社

- 3か所に分散していた本社を1か所へ集約したことにより、部門間のコミュニケーションをより活性化し、生産性の向上と新たなイノベーションの創出を図る

2027年3月期 連結経営指標計画

全体として営業利益率が改善
DAM稼働台数やカラオケ店舗の期末店舗数、パーキング件数については下方修正

会社全体で重要視する経営指標

ROE

中長期目標
12.0%以上

利益成長
営業利益率向上

EPS 121.9円

資本最適化

2026年3月期	2027年3月期
13.2%	9.9%(△3.3pts)

固定資産の売却益が剥落

事業セグメント別の営業利益率

	2026年3月期	2027年3月期(予想)
業務用カラオケ事業	18.3%	19.4%
カラオケ・飲食店舗事業	9.3%	8.9%
音楽ソフト事業	2.6%	3.7%
その他事業	13.3%	13.9%

事業セグメント別のKPI

	2026年3月期	2027年3月期(予想)	
DAM稼働台数	22.2万台	22.3万台	(+0.4%)
機器賃貸件数	11.9万台	12.3万台	(+2.9%)
カラオケ店舗	521店 既存店前年比 104%	523店 102%	(+2店)
飲食店舗	167店 既存店前年比 102%	180店 103%	(+13店)
パーキング施設数	4,400施設	4,800施設	(+400施設)
パーキング車室数	51,000車室	55,000車室	(+4,000車室)

第一興商

本説明会及び説明会資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会及び説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化などにより、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。